

# 令和3年度 リピーター獲得・観光消費拡大に向けたテーマ別コンテンツ開発業務委託 特定結果

「令和3年度 リピーター獲得・観光消費拡大に向けたテーマ別コンテンツ開発業務委託」業について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定しました。

## 1 件名

令和3年度 リピーター獲得・観光消費拡大に向けたテーマ別コンテンツ開発業務委託

## 2 委託内容

- (1) 横浜来訪者（旅行者）の実態把握、ターゲット分析
- (2) テーマ別コンテンツの開発（既存観光資源の磨き上げ含む）
- (3) モニターツアーの実施および検証
- (4) 事務局業務
- (5) 実施報告書の作成

## 3 受託候補者

株式会社リクルート

## 4 評価結果

提案者	評価点数	順位
(株)リクルート	425点/575点	1
東武トップツアーズ(株)横浜支店	224点/575点	2
(株)近畿日本ツーリスト首都圏横浜支店	170点/575点	3

## 5 評価基準・評価委員会開催概要

○評価基準

別紙参照

○委員会開催日時及び開催場所

令和3年7月5日(月) 13時30分から16時

当財団会議室

令和3年度 リピーター獲得・観光消費拡大に向けたテーマ別コンテンツ開発業務委託 提案書評価基準

1 評価方法

- (1)出席した評価委員(以下「評価委員」という)は、各評価項目について、配点により4段階評価を行う。  
 (2)提案書に評価項目に該当する記載がない場合は0点とする。

2 評価項目

評価項目		評価の視点	配点	(倍率)	満点
業務に対する理解・ 全体計画	(1) 業務に対する理解度	本事業の目的、内容を十分に理解しており、目的の達成が期待できるか。	5・3・1・0	2	10
	(2) 全体計画 (実施スケジュール)	業務を確実に実施できる体制と具体的なスケジュールとなっているか。	5・3・1・0	2	10
横浜来訪者（旅行者）の実態把握やターゲット分析、テーマ別コンテンツの開発	(1) 横浜来訪者（旅行者）の実態把握やターゲット分析への理解度・妥当性	横浜への来訪者の特徴や、価値観などの実態把握、ターゲット分析に必要な調査手法や考え方、調査項目が妥当であるか。	5・3・1・0	3	15
	(2) 分析対象者やサンプル数の設定についての妥当性	実態把握やターゲット分析を行うにあたり、分析対象者の選定やサンプル数設定の考え方は妥当であり、有用なものであるか。	5・3・1・0	2	10
	(3) コンテンツのテーマ設定	分析結果に基づき、開発するコンテンツのテーマ設定や連携する事業者を選定する際の考え方が分析結果を反映したものとなっているか。	5・3・1・0	4	20
モニターツアーの実施 および検証	(1) 実施計画	モニターツアーの効果的な実施時期やモニター候補者、人数、募集方法などの考え方が妥当かつ効果的な内容となっているか。	5・3・1・0	2	10
	(2) ツアー実施後の検証方法	ツアー実施後の検証方法やその考え方は十分にモニターツアーを検証できる内容となっているか。	5・3・1・0	3	15
	(3) 事業者が今後自走できる仕組みについての提案	事業者が今後も継続して販売が行える仕組みについて、現段階で提案があるか。	5・3・1・0	3	15
事業者の実施体制	(1) 類似業務実績	本業務を実施するにあたり、過去に類似の広報関連業務の実績があり、ノウハウを活かすことができるか。	5・3・1・0	1	5
	(2) 実施体制の確実性	業務体制について具体的に記載されており、業務がスピーディーかつ着実に進められるような体制がとられているか。	5・3・1・0	1	5
<b>合計</b>					115